

第14回関西小学生ゴルフ選手権 決勝競技

【開催日】2013年7月26日(金)
【開催コース】宝塚ゴルフ倶楽部・旧コース
(TEL.0797-71-2251)

【主催】一般社団法人関西ゴルフ連盟
スポーツニッポン新聞社

<競技の条件>

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用球の規格

競技者の使用球はR&A発行の最新の公認球リスト(JGAホームページ:www.jga.or.jp)に記載されているものでなければならない。本条件の違反の罰は競技失格。

4. 競技終了時点

本競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

5. ホールとホールの間での練習禁止

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。

これに違反して練習ストロークした場合、競技者は次のホールで2罰打を加えなければならない。

ただし、そのラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。

6. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b、c、dに従って処理すること。

(2) 陰悪な気象状態にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまで、プレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかった時は、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格。

(ゴルフ規則6-8b注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断: 短いサイレンを繰り返すと競技委員を通じて通報する。

陰悪な気象状況による即時中断: 1回の長いサイレンと競技委員を通じて通報する。

プレーの再開: 1回の長いサイレンと競技委員を通じて通報する。

7. 移動

競技者は正規のラウンド中、第8番から9番ホールへの移動および委員会が別途認めた場合を除き、常に歩いてラウンドしなければならない。この条件の違反の罰は、『ゴルフ規則付I(c)8移動』を適用する。

8. 使用ティーマーカー

男子は白マーク、女子は赤マークとする。

<ローカルルール>

1. アウトオブバウンズの境界は白杭または白線をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. 排水溝は動かさない障害物とする。
4. 人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
5. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。
球がこのカート道路の上にある場合、競技者はゴルフ規則24-2b(i)の救済を受けなければならない。
このローカルルールの違反の罰は2打。
6. 防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなくニヤレストポイントで決定しなければならない。
7. 樹木保護のための巻物施設はコースと不可分の部分とする。

<注意事項>

1. 競技の条件やローカルルールに追加・変更のあるときは、スターティングホールのティーインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. 練習は指定練習場で行い、打ち放し練習場では備え付けの球を使用し、スタート前のみとし、1人1箱(24球)を限度とする。
アプローチ練習場、バンカー練習場は使用禁止とする。 また、スタート後の練習グリーンは使用できない
4. スタート時刻10分前には必ずティーインググラウンド周辺で待機していること。
5. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないように注意のこと。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則6-7により罰せられる。
6. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分留意のこと。これを怠ると、ゴルフ規則8により罰せられることがある。
なお、部外者のコース内立ち入りは禁止する。

<指定練習日> 7月24日(水)、25日(木)のいずれか1日。
希望者は直接、宝塚ゴルフ倶楽部へ申し込むこと。

<第7回全国小学生ゴルフ大会>

2013年8月16日(金)に兵庫県神戸市の芦屋カンツリー倶楽部で開催、本競技の男子上位10人、女子上位8人が出場資格を得る。
男女ともタイが生じた場合は、マッチング・スコアカード方式で通過者を決定し、なお決定しない場合は、18番ホールからのカウントバック方式により決定する。

競技委員長・阪田 守司